



四 気 折 々

川越町立川越中学校
「学校だより」
49号令和5年2月21日
SNSの危険性②「子どもの
インスタ利用、保護者の役割」

四気 = 川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」
学校教育目標 『自立した生徒の育成 -自律・調和・創造-』のもと
・自分を大切に
・他人を大切に
・人を大切に
・粘り強くやり切る
・安全で安心できる
・地域や保護者とともにある
生徒 学校 づくりを目指します



【 SNS の危険性 いま川越中で、どんな問題が起きているか ② 】

子どものInstagram (インスタグラム)・Twitter(ツイッター)等の利用に待った！
保護者として、いま、できることは……。SNSの危険から子どもを守るには、
学校だけではできません。保護者の皆さまの責任としても……。一緒に考えましょう！

保護者の皆さまに、何よりも1番に考えてほしいこと……すべての保護者の皆さまにあてはまると思
います。「SNSの利用にあたって、危険な投稿・危険な利用をさせないために……。そして安心安全な利
用のために。」お子さまには、次のように伝えてみてはどうでしょうか？！

スマホは親からの貸与物(たいよぶつ)です。持ち主は私です。親なんだよ！
『何かあったら絶対返してもらおう！』だから、約束事をしっかり守ってね。
もし、スマホの使用で困ったことがあったら絶対に相談してね。



年々拡大する SNS の利用は大人だけではなく、子どもたち、特に10代の中・高生の利用が圧倒的に増えています。
中でも人気の高い写真・動画のこのように、川越中学校での問題を生徒のみなさんに伝えるのは、『他人ごとではなく、自分
への振り返りと気づきを含めて、今の自分はどうなのか？』『どうすれば、このような問題に気づいていくのか、このよ
うな問題に対して危機意識を持ってもらえるのか』を考えてほしい。そして、この課題や問題については、ご家庭での保護者の皆さま
の協力と対応とあわせて、お子様との話し合いの時間が絶対必要になってきます。保護者の皆さまが、いかに危機感
を持って、いかに安心安全な利用となるために、お子さまと真剣に向き合っていただくかが、本当に重
要で大切な鍵となります。先週にお伝えしたSNSでの問題は「氷山の一角」に過ぎないかもしれません。

1 【最近の中学生に多いSNS・ネットのトラブル事例として】



① 「学校生活への影響」ほんの一例として……

最近スマホを持ち始めたCさん。グループトークで友
だちとやり取りをするのが大好きです。しかし、すぐに
返信しないと無視扱いされたり、ノリが悪いと思われ
たりしそうで、いつも夜遅くまでスマホを使ってしま
います。スマホを片手に朝まで寝てしまう生活が続
きます。

朝起きるのがつらくなり、眠たくて授業にも集中で
きなくなりました。毎朝、ギリギリの時間で朝食も摂
らずに自転車で大急ぎ。交通事故に遭わないか本当
に心配です。体調や健康が心配なだけでなく、成績
にも大きく影響が出そうで心配。そんな経験は？！

② 「いじめ・人間関係への影響」

Aさんは仲良しグループのトーク画面で、メッセ
ージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしま
ったことに気づかず、風呂に入ってしまった。「？」
とは……(例)「〇〇くんの話ってさー、いつも、おもしろくない」
。「？」をつけなかったことで、違う意味で否定的にとら
えられてしまう。

風呂上がりにスマホを見ると「ひどい！」「ばかにしてる！」
などというメッセージが届いている。「？」をつけただけな
のに、誤解を解こうとしても、反応なし。Aさん以外のメンバーは、別グループを作り、
Aさんをグループから一人、外してしまいました。



③ 「SNS投稿による個人情報(ろうえい)・犯罪被害及び加害」 その1

Hさん、Iさんは、制服で夜のコンビニに立ち寄り、コンビニの駐車場で、大
はしゃぎで大変迷惑です。また、お酒を
飲んでいる写真も撮影してしま
いました。インスタ仲間の10人だけに見せ
ようと思い、SNSに写真を投稿しま
した。





インスタグラムのアカウントに鍵(かぎ)をつけて
いましたが、スクリーンショットで記録として残され
た写真が拡散されたことで、個人が特定され、学校名
や名前までがさらされ、SNS上では、「中学生が酒を
飲んでいる！」「コンビニの前で営業妨害だ！」などで
炎上。さらには、警察にも通報が。

最近では「目の瞳に写った景色」を地図情報の風景写真と照合。自宅まで確認出来、家まで追い詰められる事件も発生！

④「SNS投稿による個人情報の漏洩(ろうえい)・犯罪被害及び加害」 その 2

 <p>インスタのグループ内に、仲良しの友だちの『恥ずかしい写真』を面白半分、みんな笑ってくれるだろうと思い、送信してしまったBさん。しかし、あの写真はやっぱりヤバイ! と思い、やりすぎたと考え直し、メッセージを削除しました。</p>	 <p>トーク履歴からは削除できましたが、写真をスクリーンショットで保存されてしまった仲良しの友だちが、違うグループのDさんに写真を送信。またたく間に、恥ずかしい写真は、300人を超える人たちに拡散してしまいました。</p>
--	--

2 【意識しておきたいこと。SNS でのどんな問題が起きているか】

<p>「差別」</p> <p>障がいの有無、国籍、性別、性的指向、出身地などを理由にした、攻撃、侮辱(ぶじょく)、偏見などを含んだ投稿をする。</p> 	<p>「誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)」</p> <p>「死ね」「ウザい」「キモイ」「消えろ」などの言葉を繰り返し使った投稿をしたり、他人を攻撃したり傷つけたりしようとする投稿をする。</p> 
<p>「個人情報の流出」</p> <p>名前・電話番号・住所・メールアドレス・アカウントなどの個人を特定できる情報を流出させる。</p>	<p>「デマやうわさ」</p> <p>「〇〇くんが陽性になって、クラスにコロナウイルスを持込んだらしい」「芸能人の〇〇さんが事件の容疑者らしい」といった、事実ではない内容やうわさなどを投稿する。</p>
<p>「依存(いぞん)」</p> <p>極度のネットゲーム等の使用のしすぎで、朝が起きれない。金曜日の夜から土曜日・日曜日とずっとネットゲームがやめられない。朝と夜とが逆になってしまうような使用の仕方。生活習慣が乱れ、生活の様々な場面に支障を起こす「ゲーム障がい」。「スマホを手元から離すことができない」。などの状態になる。</p> 	<p>「プライバシーの侵害(しんがい)」</p> <p>他人に知られたくない私生活のことや、写真、動画などを無断で活用し、インスタグラムなどに投稿をする。</p> 

3 デマやうわさに流されない、発信・拡散(かくさん)する側にならないために

- (1) 最初に見た情報をうのみにしない。いったん保留しよう。
- (2) どこ(誰)が情報源なのか、他の媒体(ばいたい)などを確認しよう。
- (3) 何が事実で、何が臆測(おくそく)なのかを見極めよう。
- (4) 友だち、仲よしグループや、ほかのグループや団体などからの情報や、様々な情報にも注意を払おう。
- (5) 投稿したりする内容が、誰かを傷つけていないかなどについて注意を払おう。
- (6) デマやうわさ、誰かを傷つける内容を投稿した場合の責任は重大であること。警察や裁判にも。

「メディア・リテラシーと人権」

インターネットやSNSなど多くのメディアから得ることができるさまざまな情報を、正しく見分け、その情報が「正しいか・正しくないか」などを読み解くという「メディア・リテラシー」を身に着けることで、インターネット上で発生する、「いじめ」や「差別」の被害者や加害者にならないようにすることが大切である。
いま私たちができることは…自分や自分たちの日常を振り返る、見つめなおすことからだと思います。

【保護者の皆さまへ】お子さまは、いつもスマホから手が離せない状態になっていませんか?!

中学生のSNSのトラブルからお子さまを守るために。大人が子どもの時代に経験してこなかった現代の子ども時代。スマホのことは、SNSのことはわからないから……。スマホは子どもの物だから……。ではなく、大切なお子さまをトラブルから守るために……。SNSやオンラインゲームでのトラブルは後を絶ちません。正しく使うことによって利用価値はどんどん高くなりますが、「一度のめり込むと抜け出せないという依存症」を持ち合わせています。被害者だけではなく、加害者になってしまうケースが増えています。スマホの使用状況は、周りからわかりにくく、トラブルが発生した場合は重大事案になるまで周りが気づかないという問題があります。学校でも1人1台タブレットの導入にあたってネットモラル等の指導はしていますが、各ご家庭でのルール確認と徹底を改めてお願いします。具体的には、利用時間や場所の約束ごとを決めたり、フィルタリングサービスを確実に利用する。使う前のルール設定とその後のお子さまとの対話でSNSでの危険性は必ず下げられると思います。とにかく、お子さまに関わり(コミュニケーション)を持ってください。よろしくお願いします。学校と家庭と地域で、子どもたちを安心・安全なネット環境を構築しましょう!

